

会津若松市のOSS活用推進の取り組み

2013/09/14

会津若松市 総務部 情報政策課

主幹 本島 靖

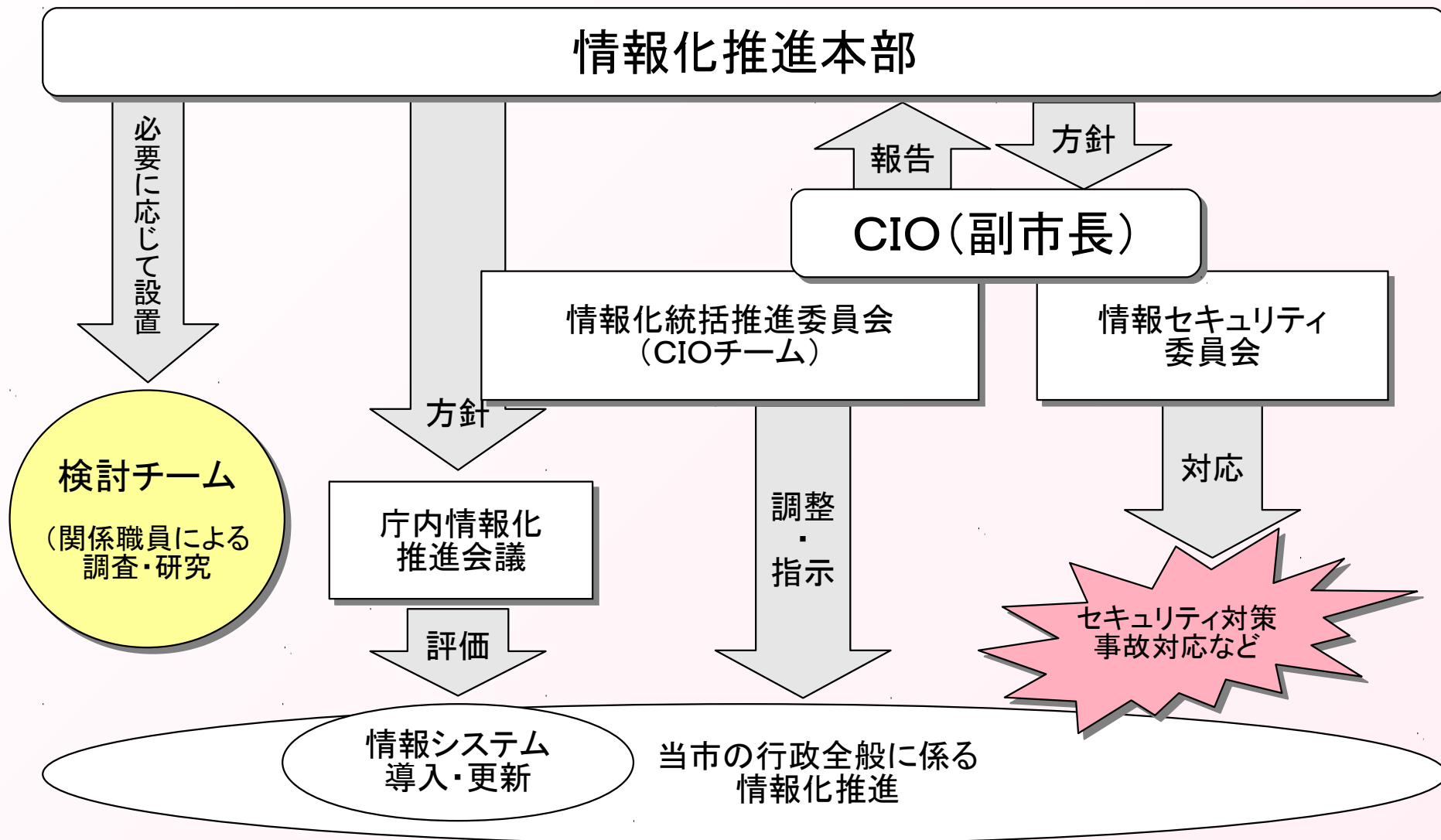


会津若松市のご紹介



- 地理**
 福島県の西部に位置しており、磐梯山や猪苗代湖など豊かな自然に囲まれた、自然景観に恵まれたまちです
- 歴史**
 古事記や日本書紀などにも「相津」と記され、東と北の出会う重要な接点として位置づけられています。また、会津は、戊辰の戦いによって武家支配が終焉を迎えるまで、中央と地方(奥州)との政治勢力が拮抗する一大拠点でした。
- 産業**
 国内有数の観光産業
 酒、漆器等の地場産業
 IC関連の最先端産業
 IT関連産業の創設
- 大学**
 平成5年開学の会津大学
 先進のソフト・ハードウェア・サイエンティスト養成を目的のコンピュータと英語教育に特徴

会津若松市の情報化推進体制



第5次会津若松市地域情報化基本計画

テーマ:「～ICTを活用した魅力ある「情報化のまち」を目指して～

基本目標

- 地域コミュニティとの協働によるきずなづくり
- 災害に強いまちづくり
- 情報化社会に適応した行政サービスの向上
- 情報発信による地域産業・経済の発展

計画期間:平成25年度～平成28年度

1. 会津若松市のOSS活用状況



OSS活用推進の目的

- オープンソースソフトウェアの活用により情報システム導入コストの抑制を図る。
- 業務システムの導入・更新に際して、特定の情報処理業者に限定される状態を緩和し、より競争性を持たせた調達を可能とする。
- 地元のICT企業（ITベンチャー等）への発注機会を増やすことが期待できる。

平成19年度行政評価（新規事業）：

・市内情報化推進事業（オープンソースソフトウェアの有効活用）として取り組みを開始し、現在に至る。

OSS活用事例の公表



Aizuwakamatsu City 会津若松市

文字サイズ | 標準 | 大 | 特大 | 背景色 | 黒 | 青 | 白 | よみあげる | Googleカスタム検索 | 検索

市民の方へ | 事業者の方へ | 観光の方へ | キーワードで探す

TOP > 組織 > 情報政策課
TOP > 分野 > ICT, 経費削減, オープンソース
TOP > 属性 > 市民・事業者の方へ

オープンソースソフトウェアを活用しています

2013年8月13日

会津若松市では、無償で公開されているオープンソースを導入することにより、導入時の費用削減を行っております。

オープンソースソフトウェアとは

ソースコード(ソフトウェアの設計図のようなもの)がインターネットなどを通じて無償で公開されており、誰でもそのソフトウェアの利用、改良、再配布が行えるソフトウェアのことです。

オープンソースソフトウェア導入のメリット

- ソフトウェアが無償であるため、導入時の費用が削減できる。
- ソースコードが公開されており、知識があれば、誰でも導入・保守ができるため、地元業者への発注機会を増やすことができる。

これまでに導入したオープンソースソフトウェア

オフィスソフト

文書作成ソフトや表計算ソフトなど、業務で使用するオフィスソフトについて、以下の2つのオープンソースのオフィスソフトを利用しています。

- [LibreOffice\(リブレオフィス\)](#) ※ソースコードが公開されているページへ移動します。
- [OpenOffice\(オープンオフィス\)](#) ※ソースコードが公開されているページへ移動します。

詳細は、「[オープンドキュメント形式文書を利用するコマ](#)」のページをご覧ください。


CMS(コンテンツマネジメントシステム)

CMSとは、市公式ウェブサイト(ホームページ)の作成、管理をするために利用しているソフトウェアです。以下のシステムを活用しています。



オープンソースソフトウェアの活用事例を 公式サイトで公表

OSSオフィスソフト導入に関する情報公開



Aizuwakamatsu City
会津若松市

文字サイズ | 標準 | 大 | 特大 | 背景色 | 黒 | 青 | 白 | よみあげる | Google™ カスタム検索 | 検索 ×

市民の方へ

事業者の方へ

観光の方へ

Q キーワードで探す

TOP > [組織](#) > [情報政策課](#)
 TOP > [分野](#) > [経費削減, オープンソース](#)
 TOP > [属性](#) > [市民・事業者の方へ](#)

OSSオフィスソフトとODF文書を導入しています

2012年3月2日

会津若松市では、全庁のパソコンに「オープンソースのオフィスソフト(以下、ossオフィスソフト)」を導入し、ワープロ・表計算などの文書ファイルのデータ形式にODF(オープンドキュメント形式)を採用しています。

ODFは、ISO(国際標準化機構)およびJIS(日本工業規格)が定める標準形式となることが出来ます。

目次

- [導入の目的](#)
- [ODF\(オープンドキュメント形式\)について](#)
- [リブレオフィス\(LibreOffice\)について](#)
- [オープンオフィス\(OpenOffice.org\)について](#)
- [普及・啓発活動](#)

導入の目的

会津若松市では、パソコン導入時の費用削減と、パソコン文書の管理効率化を目的として、無償で利用できるossオフィスソフトを全庁的に導入しています。

費用削減効果

オフィスソフトが無償となることで、パソコンを購入する際の費用を継続的に削減することが出来ます。

市役所内全てのパソコンにこのソフトを導入した場合、5年間で約1千5百万円の費用削減効果を見込むことが出来ます。



- 平成20年度からOSSオフィスソフトを、庁内標準オフィススイートとする。
- ODFを電子文書の標準形式とする。
- 取り組み経過を公開

地元企業のOSSオフィスソフト導入事例



AIZUGAS
会津ガス株式会社

HOME 家庭用のお客様 アリさんのおつかい アリさんのショールーム
出張授業 アリさんのお楽しみ おバカフォト展示会 会社概要

会津ガスでは
オープンオフィス
Open Office を導入しています

Open Officeとは

- 無料で使うことができる、Officeソフトです。
MS Officeとの互換性が高く、操作性も似ているため、人気があります。
会津若松市のように、費用削減、PC文書の管理効率化のため、導入する機関が増えていきます。

※参考 会津若松市役所 HP【[会津若松市のHPへ](#)】

Open Office導入までの経緯

- 2011年02月：次期OSとしてWindows7の検討を開始。
Windows7では、現在使用しているOfficeが利用できないため、MS Officeに代わるソフトの調査開始。
- 2011年04月：会津若松市役所 情報政策課に
導入のノウハウ、問題点等について、聞き取り。
- 2011年09月：社内の一部部門にOpen Office試験導入。
業務上の問題点を調査し、その内容を元にFAQを作成。
- 2012年03月：社内で使用する帳票類のOpen Office版の作成完了。
全社員のPCにOpen Officeインストール完了。
全社員を対象に、Open Officeの講習会を実施。



- 会津ガス(株)公式サイトでの情報公開
- 地元の企業でも独自に導入される事例が出てきました。

公共インターネット端末でのLinuxの活用



文字サイズ | 標準 大 特大 | 背景色 | 黒 青 白 | よみあげる Googleカスタム検索 検索 ×

市民の方へ 事業者の方へ 観光の方へ キーワードで探す

TOP > 組織 > 情報政策課
 TOP > 分野 > ICT, サービス
 TOP > 属性 > 市民の方へ

オープンソースソフトウェアを活用して公共インターネット端末を運用しています

2013年3月12日

平成22年12月より、本市の推進するオープンソースソフトウェアを活用することで、庁内で使用期間を終えた事務用パソコンをリサイクルし、新たなコストを掛けずに機器を整備いたしました。市民に開放するインターネット閲覧用パソコンで手軽で快適なインターネット利用がで

市民に開放するインターネット閲覧用パソコンでLinuxを活用

※平成25年2月より、オペレーションシステム（OS）として、Linux（オープンソース）を採用し、ユーザーインターフェース（UI）として、Ubuntu（Linuxディストリビューション）を採用し、ユー

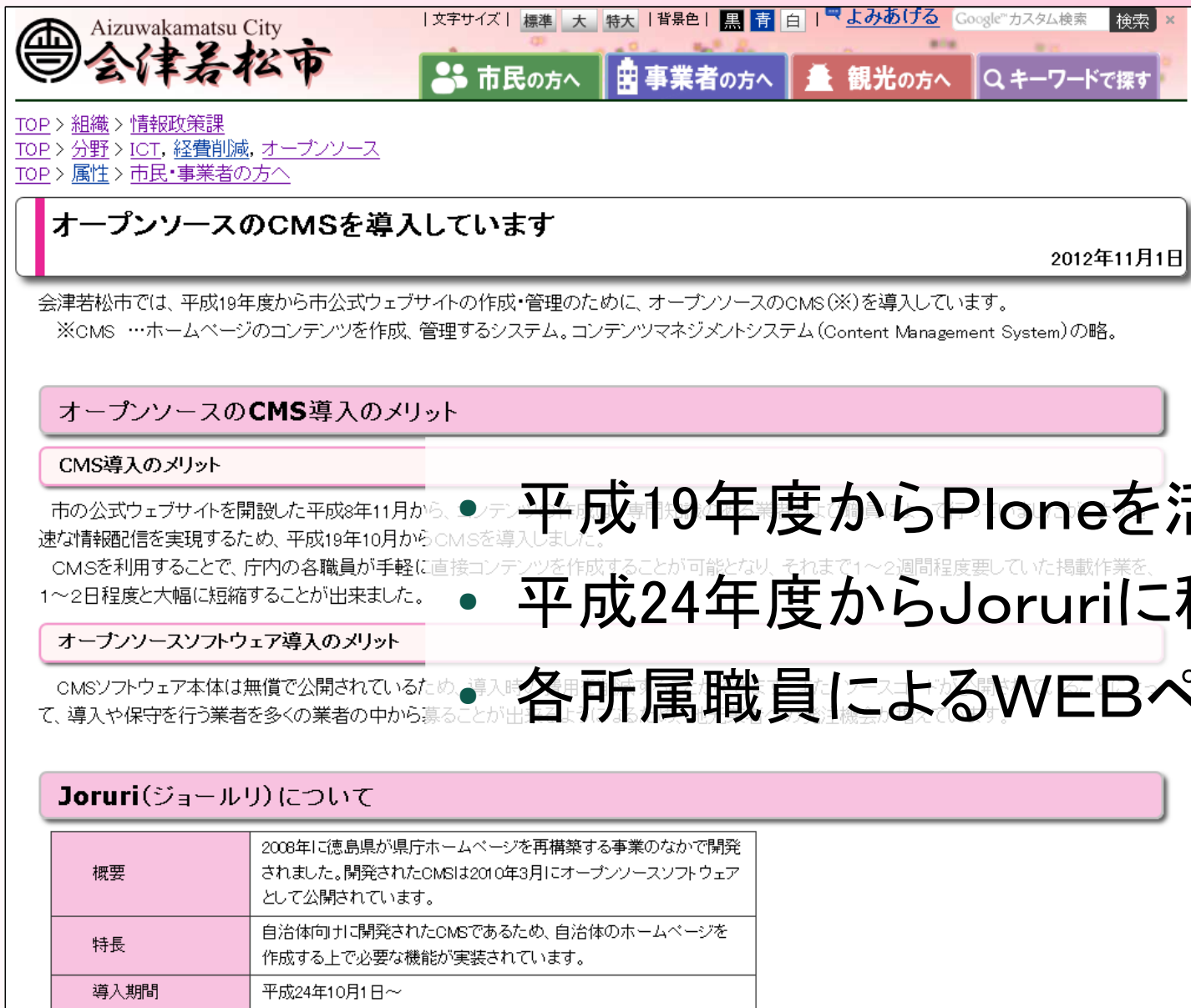
公共インターネットパソコンの概要 ● 業務用パソコンのリユース

ハードウェア	デスクトップパソコン(2014年製)
OS	Xubuntu Linux 12.04 LTS (Ubuntu Linux)
WEBブラウザ	Firefox(ファイアーフォックス)
セキュリティ対策	毎起動時に初期状態から起動することで安全性を高めています。コンテンツフィルタを採用し、危険なサイトへのアクセスを防ぎます。
その他	耐久性向上のため、ハードディスクを使用せず、USBメモリからOSを起動します。デスクトップなどパソコン本体に保存したデータは、次の起動時に消去されます。

● 第三者貸与に係るライセンス制限の解消



OSSのCMS (Joruri) 導入



Aizuwakamatsu City 会津若松市

市民の方へ 事業者の方へ 観光の方へ

オープンソースのCMSを導入しています

2012年11月1日

会津若松市では、平成19年度から市公式ウェブサイトの作成・管理のために、オープンソースのCMS(*)を導入しています。
 ※CMS …ホームページのコンテンツを作成、管理するシステム。コンテンツマネジメントシステム(Content Management System)の略。

オープンソースのCMS導入のメリット

CMS導入のメリット

- 平成19年度からPloneを活用
- 平成24年度からJoruriに移行
- 各所属職員によるWEBページ管理が容易

オープンソースソフトウェア導入のメリット

Joruri(ジョールリ)について

概要	2008年に徳島県が県庁ホームページを再構築する事業のなかで開発されました。開発されたCMSは2010年3月にオープンソースソフトウェアとして公開されています。
特長	自治体向けに開発されたCMSであるため、自治体のホームページを作成する上で必要な機能が実装されています。
導入期間	平成24年10月1日～



OSS公共施設予約システムの導入




会津若松市 公共施設予約システム

トップメニュー

会津若松市公共施設予約システムでは
パソコンやスマートフォン等から
公共施設の「空き状況の確認」や「予約申込み」を
することができます。

公共施設
予約システム
が新しく
なりました

- 「予約申込み（仮予約）」を行うには施設予約システムへ利用者登録が必要です。
- 「空き状況の確認」は、利用者登録不要です。
- 公共施設の中には、「空き状況の確認」のみができるもの（予約申し込みが出来ないもの）があります。
- 詳しい説明や登録方法は「ご利用ガイド」をご覧ください。

▼ 公共施設予約システムのご利用はこちらから

空き状況を確認

マイページ

施設のご案内

ⓘ システムは24時間お使いいただけます。

- 平成25年3月21日から新システム稼働
- 地元企業によるシステム構築
- 保守業者は、随契ではなく入札により選定

システム導入手順標準化 (調達仕様書の標準雛形)

会津若松市情報システム導入に係る調達仕様書

業務名：「会津若松市庁内クラウド構築業務」

システム名：「会津若松市庁内クラウドシステム」

上記のシステムを導入するにあたり、機能要件・要求仕様を次のとおりとする。

- 情報システム導入手順標準化マニュアルを作成
- 導入計画や調達仕様の標準化を促進

I. 基本事項

1. 本仕様書の位置付け

本仕様書は、システム導入の方針、目的、前提条件及び機能要件をまとめたものであり、システムに求める基本的な仕様の根本を成すものである。したがって、システム導入にあたって作成される各種仕様書・設計書・各種テスト報告書等は、本仕様書に則したものでなければならず、システムに実装される機能も本仕様書の要件を満たすものでなければならない。

2. システム導入の方針

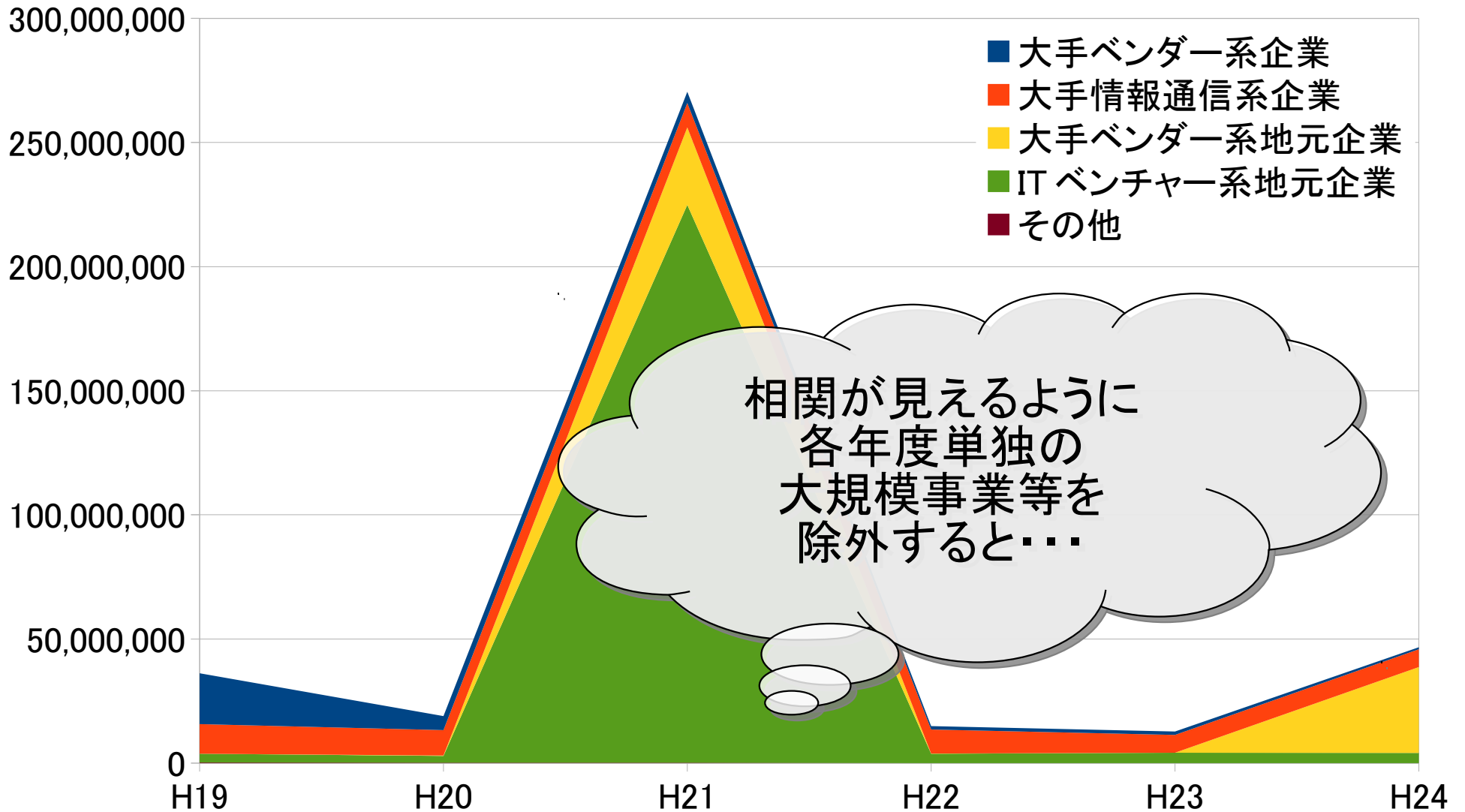
- (1) 庁内システムの全体として「地域情報プラットフォーム」
- (2) データ連携時の互換性を確保し、国際規格・日本工業規格等の標準規格を採用する。
- (3) システムに実装するソフトウェアに活用すること。また、新規ソフトウェアについては、市の公的財産としての活用を原則とする。
 - ① ソフトウェアに適用するライセンスは、「GPLv3」またはこれに準ずるもの
 - ② 図画・デザイン・文章等の著作権表示 - 継承 2.1 日
- (4) システムにおける蓄積データの移行等が阻害されることを防止し、システム構築に必要なデータ（設定パラメータのエクスポートファイル等）を出力する業務は、本業務に含まれることとする。

2. システム導入の方針（※この内容は要約したものです）

- (1) 「地域情報プラットフォーム標準仕様の適用が原則
- (2) 独自規格でのデータ管理を避け、オープンな標準規格の採用が原則
- (3) オープンソースソフトウェアを積極的に活用する。
新規に作成するソフトウェアは、市の公的財産として広く活用できることを前提とし、次のライセンスの適用が原則
 - ① ソフトウェアに適用するライセンスは、「GPLv3」または準ずるもの
 - ② 著作物に適用するライセンスは、「CC BY-SA」または準ずるもの

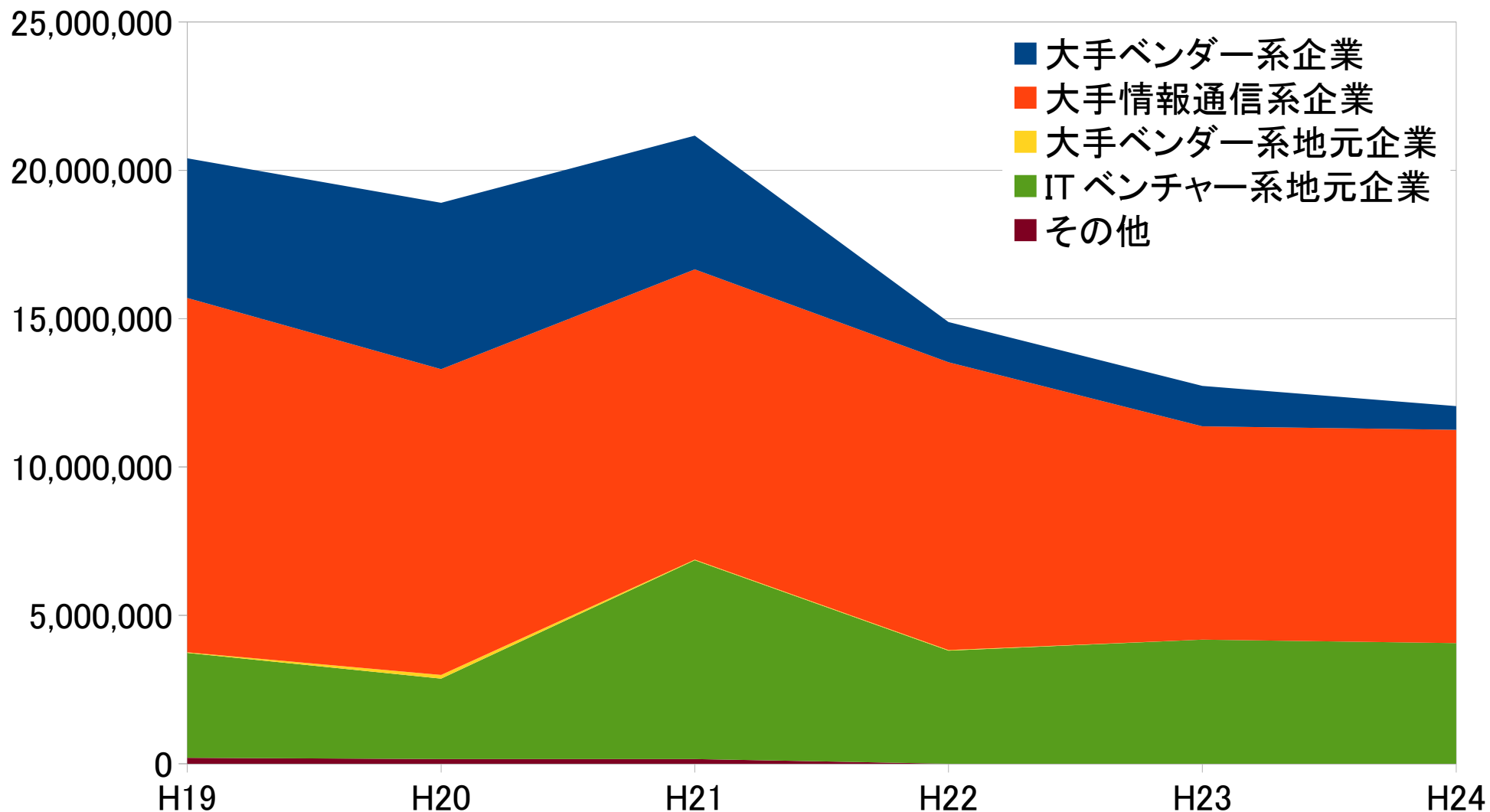
システム関連業務委託の経年変化

(※1 情報政策課分のみ集計)



システム関連業務委託の経年変化

(※1 情報政策課分のみ集計、※2 各年度単独の大規模事業等は除外)



2. OSSオフィスソフト活用事例



OSSオフィススイートのご紹介 (LibreOffice/Apache OpenOffice)

- ワードプロ、表計算、プレゼンテーション、図形作成等の機能を持った「オフィススイート」
⇒USBメモリ等で持ち歩けるポータブル版もある
- オープンソースで開発され無料で利用可能
- 異種OS間でのデータ共有が容易
- ISO/JIS認定のODF(OpenDocument形式)が標準
- Microsoft Office形式も読み書き可能
- 直接PDF文書を作成することが可能
- 拡張機能により様々な機能の追加が可能

全国の自治体への拡がり

(公表されている事例の一部)

- 愛媛県 四国中央市
(2009/03 00o)
- 愛知県 豊川市
(2010/02 00o)
- 北海道 深川市
(2010/08 00o)
- 大阪府 交野市
(2010/08 00o)
- 茨城県 龍ヶ崎市
(2011/03 00o)
- 埼玉県 久喜市
(2012/10 L0)
- 滋賀県 甲賀市
(2012/04 L0)
- 静岡県 湖西市
(2013/06 L0)
- 徳島県庁
(2011/03 00o
→ 2014/01 L0へ)

山形県庁(2011/01 00o導入)
→商用オフィスを全庁導入へ(2014)

OSSオフィスソフト導入の目的

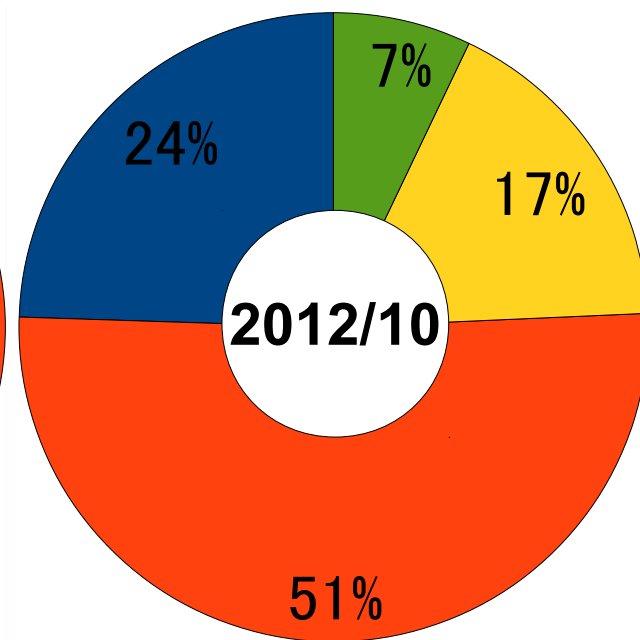
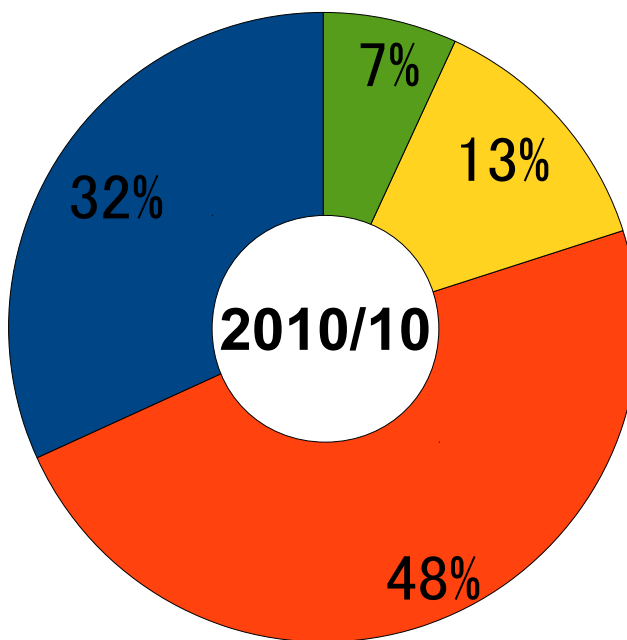
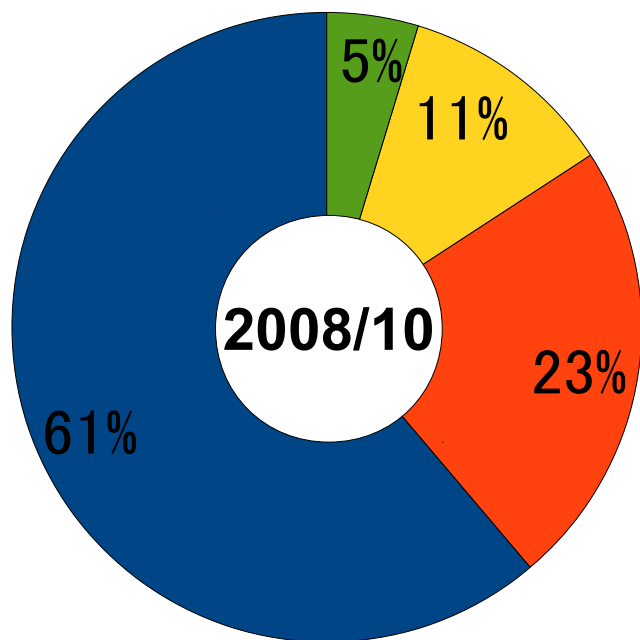
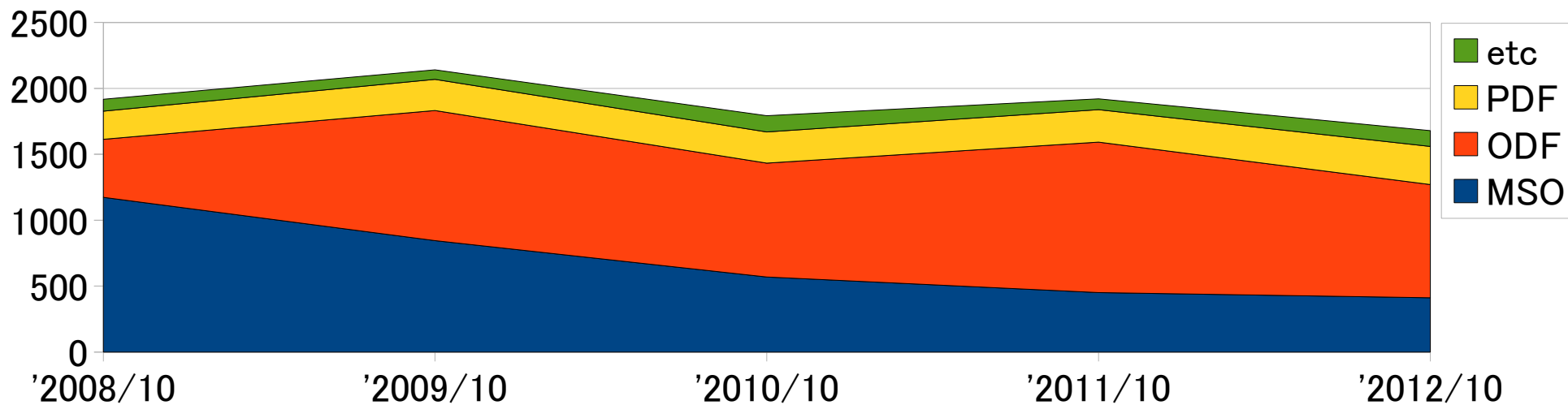
- 無償のオフィスソフトウェアを活用することによる経費削減
- 国際標準規格であるオープンドキュメント形式の採用による電子文書の保存・保管の適正化
- 無償ソフトウェア及びオープンドキュメント形式の採用による利用者の利便性向上
- オープンソースソフトウェアの活用による地元産業の振興

OSSオフィスソフト導入経過

- 2007年6月
「OSSの活用事業」を行政評価に提案
(当面OpenOffice.orgの全庁導入を進める)
- 2008年10月～
標準オフィスソフトをOpenOffice.orgとし、
電子文書の保存形式を原則ODFとする。
- 2011年2月～
OpenOffice.orgの動向を考慮し、LibreOffice
の試用・評価を開始
- 2012年1月～
標準オフィスソフトをLibreOfficeとする。

文書管理システムにおける添付文書の推移

(※主に決裁を伴う公文書や供覧(回覧)文書数に占める割合)



コストの削減効果

- 会津若松市の試算
PC840台：1,500万円程度の削減
(1,750万円 × 85%)
⇒ 行評：平成25年度で累計1,256万円の削減見込み
リース料換算で目標額達成可能なペース
- 愛媛県四国中央市の試算（公表値）
PC1,100台：約3,300万円の削減
- 徳島県の試算（公表値）
PC約4,000台：1億円以上の削減

「オープンな標準」の重要性

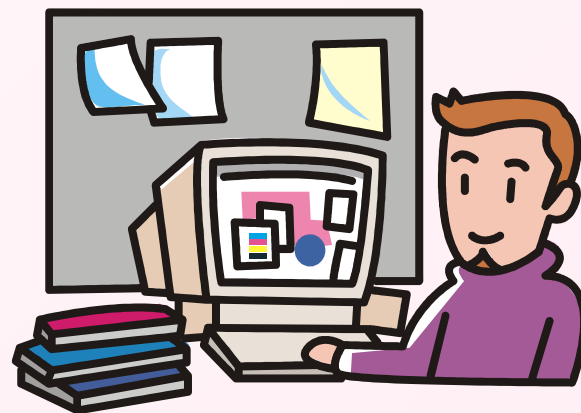
- 文書の電子化を進める上で・・・
⇒長期保存の文書を将来にわたって閲覧する術は保障されているのか？
- 「オープンな標準」仕様であること
⇒誰でも表示用ソフトなどが作成できる。
- ODFの実体
⇒XMLファイルと画像ファイルなどがZIP圧縮されている。
⇒ZIP解凍すれば汎用エディタでもXMLファイルの記述は読める。（可読性の確保）
- 文書形式標準化（ODF採用）により、対応するソフトウェアを選択することが可能に・・・
⇒有償オフィスソフトの対応も進んできている。

コストメリットの考え方

- 評価期間を長く取ればコストメリットが増える
導入・維持コスト < ソフトウェア代
(人件費を含む) (恒久的に無料)
- 導入作業、教育、維持管理、資産移行などの「人的コスト」が掛かりすぎるとコストメリットは消失してしまう。
- 通常業務の中で「薄く広く」吸収できる部分は、実質的な経費負担を抑えることができる。
- 「しっかり計画し、無理をしない」ことが重要

商用オフィスソフトから移行する際の課題

- 対外的なやり取りでは、データ形式の変換などが避けられない場合がある。
⇒ユーザ数(普及率)の差によるもの。
⇒PDFやビューアの活用で対応できるものも多い
- 活用情報やマニュアルなどが少ない。
⇒ネット上のガイドなどを集約し、庁内で公開
- 素材やテンプレートなどが少ない。
⇒ネット上のフリー素材を紹介
- デザインフォントが付いてない。
⇒フリーの毛筆フォント等を活用



OSSオフィスソフト活用に向けた 課題の捉え方・考え方

- 商用オフィスソフトの機能を、そのままOSSオフィスソフトに求めることには無理がある
⇒実務に耐えるかの評価で検討すべき
(機能不足を許容する柔軟性は必要)
- 商用オフィスソフトの文書形式を編集するための代替ソフトではない
⇒ODFへの移行を基本にすべき
(既存の文書形式を継続的に取り扱う場合、レイアウトずれ等の問題をいつまでも引きずることに…)
- まだ成長期のソフトウェア(機能は発展途上)
⇒機能や互換性は更新の都度向上しています。
⇒安定版(バージョン「*.2」以降)を使いましょう!

組織での導入ポイント

- ソフトランディングを目指しましょう！
⇒既存資産の移行は、必要になった時点で段階的に
- ODFへの移行を軸にしましょう！
⇒本来の機能を発揮できる形式で利用しないと、業務効率の低下を招く恐れがあります。
- 部分的な導入では十分な評価が出来ません！
⇒環境の違いが業務低下を招くことに繋がります。
- 導入初期は、迅速なサポートが必要
⇒オフィスソフトの機能的な解決ではなく、業務を停滞させないフォローが重要です。

すぐに試せることが最大のメリット！

⇒まずは、全てのPCで併用するところから始めてみては？

3. OSS活用における業務継続の視点



対外的な普及促進

- 市民の負担（有償ソフトウェアの利用）を前提としなくても、公文書・申請様式等が取り扱える事を、公共サービスの新しいボーダーラインに
- ICTの活用に必要な初期投資を少なくすることで、情報化社会参画への敷居をより低く
- 市役所が外部との文書交換に際して発生する変換作業の抑制・軽減
- 市では積極的に普及を促進しています！
⇒ガイドブック公開、CD-ROM配布、啓発ロゴ活用など



ODF 文書を推進しています。

国内の企業・団体への普及発展の取組み

- 日本Open Source Office Suites & OpenDocument Format利用推進グループ(ODPG)
国内の企業・団体におけるOpen Source Office Suites およびODFの更なる普及発展を図る活動を共同で行う。(2010/09設立 → 2013/06団体名称変更)

【ODPG設立当初の参加企業・団体】

アイコクアルファ株式会社

会津若松市

株式会社アシスト

エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社

クリオン株式会社

株式会社コミュニチュア情報システム

三洋機工株式会社

住友電気工業株式会社

住友電工情報システム株式会社

(社名・団体名を非公開で参加する会員を除く)

セミナー資料等の公開



Aizuwakamatsu City 会津若松市

市民の方へ 事業者の方へ 観光の方へ キーワードで探す

TOP > 組織 > 情報政策課
 TOP > 分野 > 経費削減, オープンソース
 TOP > 属性 > 市民・事業者の方へ

OSSオフィスソフトの普及・啓発活動

2013年5月24日

OSSオフィスソフトおよびオープンドキュメントの普及促進などの活動についてご紹介します。

一覧

このページに掲載されている資料は、[クリエイティブ・コモンズ・ライセンス](#)の下でライセンスされています。*ただし、資料内で使用されているイラスト・図形を除きます。



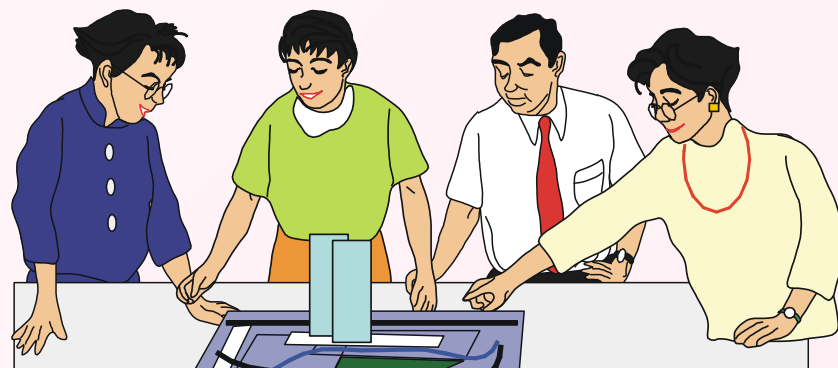
- 2013/5/13 依頼により講演:「[自治体向けオープンソース活用事例セミナー](#)」
 タイトル:「会津若松市のOSS活用推進の取り組み」
 主催 :OSSコンソーシアム東海支部
[自治体向けオープンソース活用事例セミナー 講演資料\(1.46MBytes\)](#)
- 2012/11/3 出展:「[オープンソースカンファレンス2012Aizu](#)」
 タイトル:「Linuxを活用したPCIサイクルによる公共インターネット端末」など
 主催 :Open Source Conference 2012 Aizu 実行委員会
- 2011/9/3 依頼により講演:「[オープンソーススモールカンファレンス2011AIZU](#)」
 タイトル:「会津若松市におけるOpenOffice.org導入と取組みの現状」
 主催 :オープンソーススモールカンファレンス2011AIZU実行委員会
 オープンソースカンファレンス実行委員会
[「オープンソーススモールカンファレンス2011AIZU」講演資料\(PDF形式661KB\)](#)
- 2010/12/11 依頼により講演:「[オープンソースカンファレンス2010FUKUOKA](#)」
 タイトル:「会津若松市におけるオープンオフィスの活用とコミュニティへの貢献」
 主催 :オープンソースカンファレンス実行委員会
[「オープンソースカンファレンス2010FUKUOKA」講演資料\(PDF形式1.4MB\)](#)



• この資料も後日公開します！

コミュニティ支援への配慮

- OSSを活用した業務継続を考えた場合、安定的な供給が望まれる。
- OSSの多くは、ボランティアベースのコミュニティによって維持されている。
- 可能な限りコミュニティへの支援を考慮すべき
- 直接活動に参画するのが最も望ましい。



OSS啓発イベント地元開催への協力

Aizuwakamatsu City 会津若松市

市民の方へ 事業者の方へ 観光の方へ

キーワードで探す

TOP > 組織 > 情報政策課
 TOP > 分野 > ICT, オープンソース
 TOP > 属性 > すべての方へ

「オープンソースカンファレンス 2012 Aizu」(OSC会津)が開催されました！

2012年11月6日

オープンソースソフトウェアの自由と活気を活かして会津・福島の元気を呼び起こし、将来の情報技術プロフェッショナルを生み出すきっかけとすることを目的として、平成24年11月3日にオープンソースカンファレンス「Open Source Conference 2012 Aizu」(OSC会津)が開催されました。

開催内容

- ▶ 日時 平成24年11月3日(土)
- ▶ 場所 会津大学 講義棟 MB・MD教室 [\[キャンパスマップ\]](#)
- ▶ 参加費 無料
- ▶ URL <https://www.ospn.jp/osc2012-aizu/>
- ▶ 主催 Open Source Conference 2012 Aizu 実行委員会
- ▶ 内容 オープンソースに関する最新情報の提供
 - ・展示 - オープンソースコミュニティ、企業・団体による展示
 - ・セミナー - オープンソースの最新情報を提供

- OSS普及啓発に向けた地域の活動が活発に
- 市も周知などに協力

イベントに関するお問い合わせ先

- ▶ オープンソースカンファレンス事務局
- ▶ URL: <https://www.ospn.jp/osc2012-aizu/>



オープンデータ啓発イベント 地元開催への協力

Aizuwakamatsu City 会津若松市

市民の方へ 事業者の方へ 観光の方へ

キーワードで探す

TOP > 組織 > 情報政策課
 TOP > 分野 > ICT, オープンソース
 TOP > 属性 > すべての方へ

オープンデータデイin会津2013

2013年2月15日

来る2月23日(土)は、「[International Open Data Day](#)」と題して、世界中の各地で市民が集まり、オープンデータを活用してアプリケーションを開発したり、データを発掘して解放したり、データをわかりやすく可視化したり、分析してその結果を公表したりするイベントが開催されました。

このイベントに合わせて、本市においても「オープンデータデイin会津2013」が開催されました。

開催内容

• オープンデータの普及啓発に向けた地域の活動も活発化

- ▶ 日時 平成25年2月23日(土)10:00~15:00
- ▶ 場所 会津大学産学イノベーションセンター
- ▶ 参加費 無料(募集人員20名)
- ▶ URL <http://peatix.com/event/10308>

• 市もデータ提供やイベント周知などに協力

イベントに関するお問い合わせ先

主催者の告知サイトをご覧ください。
<http://peatix.com/event/10308>





会津若松市

オープンデータの取組みも推進中！

Aizuwakamatsu City 会津若松市

市民の方へ 事業者の方へ 観光の方へ

オープンデータの取組み

2013年3月13日

現在、国では、公共データをオープンにし、二次利用を促進することにより、透明性・信頼性の向上、経済活性化などを目指しています。会津若松市でも、多方面での情報の活用を推進し、地域の活性化に寄与するため、ウェブサイトで公開する公共データのオープン化を推進します。本市のデータをぜひ活用してください。

※ 「Linked Open Data チャレンジJapan2012」にて、本市のオープンデータが「公共LOD賞」を受賞しました。賞金は、市の歳入とし、市の取組みに活用させていただきます。

- 平成24年7月からオープンデータの取組みを開始
- LODチャレンジ2012で、「公共LOD賞」を受賞

データのライセンス

本市で公開しているデータを利用する場合には、本市のデータを利用している旨の表示をすれば自由に利用でき、二次的著作物の作成が可能となります。

この作品は、[クリエイティブ・コモンズ・ライセンス](http://creativecommons.org/licenses/by/4.0/)の下でライセンスされています。





ご清聴
ありがとうございました。

会津若松市のWEBサイトで情報を公開しています。

<http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2009122400048/>



新島八重マスコットキャラクター

八重たん